

## 土木職 係長

### 事業計画課所属

#### 県庁や市役所とは違う

#### 「広域的」「企業的」な業務の面白さ

##### ―企業団の仕事のやりがい、魅力はなんですか

県内の水道利用者の大部分の方に企業団の水が届いていることや、県民の皆さんの生活を陰ながら支えていることです。普段仕事をしていると、そういったことはあまり感じませんが、神奈川県地図を見て「ここまで企業団の水が届いているんだよな…」とか、休日に出かけた先でトイレに入った時に「これ企業団の水なんだよな～」とか、ふと思うことがあり、そういったときに「頑張ろう」と思えます。

通常の行政区域を超えた広域的な水道事業に携われるというのが企業団の仕事の特徴で、特にこれからは企業団と構成団体で水道システムの再構築という非常に大きい事業を進めていくことになるため、非常に魅力的な仕事だと感じています。

##### ―係長をめざす事になったきっかけや理由を教えてください

技術職としてのステップアップのために技術士の資格を取得したことや、年齢的にもそろそろ「指導」みたいな役割にもシフトしていかなくちゃという風に思い始めたのが主な理由です。

ただ、いざ係長になることを真剣に考えだすと、どうしたらみんなが楽に仕事ができるか、どうすれば仕事が良くなるか、みたいなことをまじめに考えるようになり、最終的に決断した時は、「企業団を良くしてやろう」といった思いが強かったです。

##### ―今はどんな仕事に従事していますか

将来に向けて、企業団と構成団体の5事業者で今後の水道施設をどのように再構築していくかという検討を行っていて、そのなかで、構成団体の浄水場をダウンサイジングして企業団の浄水場に能力を集約しつつ、災害や事故時のバックアップ機能も高めていくための施設整備の構想を練ったり、5事業者が一体的に水道施設を運用していくための法的・制度的な課題の整理などを行っています。仕事のほとんどが構成団体など外部とのやり取りになります。



## 自身のステイタスを高めるチャレンジを

### 一係長として大切にしていることや意識していることを教えてください

将来の水道施設をどのように再構築するかという、答えの無い長期間に及ぶ複雑な検討を行う係なので、できるだけ係の職員の力や知恵を引き出して集約し、将来の成果につなげていけるよう、単発的に「何をやるか」ということよりも、先を見通しながら「職員にどの段階でどのように業務を進めてもらうか」ということを意識しています。

### 一受験者の方へメッセージをお願いします

地方公務員で一括りにしてしまうと、県庁や市役所との差はわかりにくいですが、企業団の仕事は、行政区域をまたいだ「広域的」な仕事であり、また水道という独立採算の事業なので「企業」的な側面もあります。そういった点で、県庁や市役所とは違った面白さのある仕事だと思います。



神奈川県もこれから人口減少社会に突入し、水道事業にとっても厳しい時代になると言われています。「減少」という後ろ向きで暗いイメージもありますが、「人口減少に水道システムを適合させる」という日本にとって未知の問題に立ち向かうことを考えれば、これほどチャレンジングな仕事もなかなかないと思います。これから、企業団と構成団体は、5事業者でこの問題に取り組んでいきます。この歴史に残る仕事に皆さんと一緒に取り組めることを楽しみにしています。



※内容はインタビュー当時の内容になります。